

平成 30 年度 第 7 回一般社団法人三重県作業療法士会定例理事会議事録

日時：平成 30 年 11 月 9 日（金）19:35～22:10

場所：鈴鹿厚生病院

出席者：田中一彦、佐藤明俊、松本周二、橋本昌弘、山本泰雄、宮坂裕之、石崎健、  
島崎博也、牧野有華、上野平圭祐（以上理事）北川知宏、冨中真悟（以上部長）  
佐野佑樹（委員長）木股徳充（学術部代理）工藤元貴（会議報告者）

書記：野口佑太

<協議事項>

1. 生涯教育制度推進担当者会議参加者推薦について

日時：平成 30 年 11 月 17 日（土）13:20 分～17:00（受付開始 13:00 分）

18 日（日）9 時 10 分～12 時

場所：東京文具共和会館 3 階 A 室

主体会病院 福井氏を推薦

承認

2. 三重県訪問リハビリテーション連絡協議会主催研修会、共催依頼について

「地域リハビリテーション活用法研修」研修会

(1) 日時：平成 31 年 2 月 3 日（日）10:00～16:00

場所：済生会松阪総合病院

講師：張本浩平氏

(2) 日時：平成 31 年 2 月 24 日（日）10:00～16:00

場所：三重大学医学部付属病院

講師：谷隆博氏

承認

3. 伊勢市地域包括ケア推進協議会「ケアマネジメント支援分科会」委員推薦について

現在、伊勢市と三重県作業療法士会は協定を結んでおり、委員推薦していく

伊勢慶友病院 古野氏を推薦

承認

4. 組織部より

少人数職場ネットワーク アンケート調査について

1～2 名の作業療法士が所属している施設を確認した。

日本作業療法士協会に登録されている施設：75

協会に登録はなく、県士会名簿から把握できた施設：35

計：110 施設

各ブロック連絡網データよりメールアドレスが記載されている施設にはメールで送信し、メールアドレスがない施設には郵送する。また、事前にブロック長に連絡を行ってからアンケートを実施する

承認

#### 5. 事務局より

以前より、メール連絡網で情報発信の検討を行っていたが、個人情報の流出の恐れや、管理方法など様々な問題があった。

そこで、今後の会員への広報の一つとしてLINE@を検討したいと考えている。

通常のLINEで運営すると、登録個人の情報が漏れやすくなってしまう。

LINE@では企業向けLINEであり、情報発信は一方通行になり、個人が質問しても他の登録会員には閲覧、情報発信されないメリットもある。

無料版では、会員数と情報発信数の制限などのデメリットがあるが、有料版であれば、発信制限はなくなり、情報送る量も増える。

その他、登録は会員限定で、非会員を制限するのか？などの問題も指摘されている。

広報部の印刷・運搬費用が節減されているため、有料版の使用も可能であるが、まずは試験運用し問題点などを平成31年2月頃までに報告する。

保留

#### 6. 運転と作業療法委員会

- ・三重県指定自動車教習所協会との連携について

指定協会より受入に対する担当窓口設置を要望されている。

担当窓口を設置することに関して

承認

現在、関係団体との意見交換中であり、関係団体の前向きな協力や指針が煮詰まれば三重県作業療法士会のホームページに広報掲載することについては継続審議とする。

(運営案) 施設と自動車学校の連携の流れ

- ① 県内医療関係者（主に療法士）から士会事務局に連絡  
入院期間、地域、対象者の車両の状況、講習内容を聴取
- ② 指定協の事務局に連絡
- ③（三重県作業療法士会事務局に）対応可能な自動車学校の通知
- ④ 三重県作業療法士会事務局から依頼のあった療法士に連絡
- ⑤ 依頼のあった療法士から対応可能な自動車学校へ連絡し、日程等を調整

保留

#### 7. 臨床実習指導者養成研修について

今年度の厚生労働省の政策改編理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則の改変に伴い、平成32年度から臨床実習指導者に指定された研修会の受講が義務付けられる。

要件を満たした臨床実習指導者が少ないと、三重県内の臨床実習に支障をきたすことになるため、三重県内で研修会を開催していくことが求められている。

日本作業療法士協会では、臨床指導者養成研修の修了者を早急に育成していくために、研修会運営の検討を行なっているが、三重県作業療法士会においても、日本作業療法士協会と連携、協力出来るように、臨床実習指導者研修会開催のための組織を作っていく。

承認

組織として今後、特設委員会とするか、部局の下部組織にするかは、12月の理事会で報告される組織案をもとに検討する。

保留

#### 8. 災害時に被災した会員への対応について

三重県作業療法士会の救済案として、近隣県や、災害経験した県の支援方法を参考に、会費の免除やチャリティー研修会の開催など、支援する方法を検討していく。

調査結果をもとに検討し、理事会及び来年度の総会に、救済案について提案していく。

災害対策委員会で検討する

保留

#### 9. 規約表彰委員会報告

日本作業療法士協会の特別功労推薦者表彰推薦について  
該当者なし

承認

#### <報告事項>

##### 1. 平成30年度臨床実習指導者研修会（中・上級）報告

日時：平成30年10月6日9:00～10月7日16:00

場所：藤田医科大学

内容：平成30年度 臨床実習指導者研修会（中級・上級）プログラム

参加費：1,000円

参加者数：50名程度（三重県士会から5名の理事参加）

松本副会長、佐藤副会長より報告あり

橋本渉外部長より補足説明あり

2020年までに全国で24,000名を養成する予定。

非会員の作業療法士の受講をどうするか。牧野氏より日本作業療法士協会に問い合わせ済み。現在、未返信。

返信あれば理事会にて報告する

##### 2. 学術部より

学術部主催勉強会

日時：平成30年11月4日（日）13:30～15:00

場所：県立こころの医療センター

講師：埼玉県立精神医療センター 宇田英幸氏

テーマ：作業療法の魅力・真髄・底力

～精神障害者・精神科作業療法を通して～

参加人数：31名

### 3. 作業療法啓発部より

グリル四日市クリスマスパーティー

日時：平成30年12月5日（水）17:30頃集合 20:30頃解散

場所：四日市文化会館内グリル四日市

内容：全日本司厨士協会主催での障がい児施設を招いてのクリスマスパーティー。

フランスコース料理のウエイター役で出勤。

スタッフ：司会1名（島崎）、ウエイター役2名（松本周二先生、森順平先生）

今後：四日市の障がい児施設分、後3年は継続して実施するとの事。ここまで来たので、最後まで実施したいと思います。

### 4. 認知症作業療法推進委員会より

#### (1) みんなで学ぶ 認知症とともに地域で暮らす 研修会の実施

日時：平成30年11月4日（日） 9:30～12:30

場所：三重県立こころの医療センター2階講堂

内容：認知症初期集中支援チームにおける活動紹介

参加者：55名（一般：6名、他職種：14名、OT：35名）

講師：山口 智晴氏（群馬医療福祉大学リハビリテーション学部 教授）

#### (2) 認知症作業療法推進委員会議

日時：平成30年10月27日（土）13:00～18:00、28日（日）10:00～15:00

場所：TKP 秋葉原カンファレンスセンター ホール8A

内容：アップデート研修2018年度版の更新、各県士会活動報告

参加者：105名（三重県士会より工藤、林の2名参加）

講師：小川 敬之氏（京都橘大学 健康科学部 作業療法学科 教授）

長倉 寿子氏（日本作業療法士協会 認知症の人の生活支援推進委員会 委員長）他

研修内では、今後の各県の認知症作業療法推進員の役割として、地域活動に関わるOTの人材育成や地域活動の推進が示された。

#### (3) 第18回 東海北陸作業療法学会でのブース展示

日時：平成30年11月17日（土）～18日（日）

場所：AOSSA（福井県）

内容：中村 こと美氏（福井県作業療法士会 認知症作業療法推進委員）より、上記学会にて東海北陸7県の認知症作業療法推進委員活動報告をブース展示したいとの提案あり、資料提供する方向で準備中。

5. 作業療法推進部 会議報告

三重県作業療法学会に人が集まらなかった

魅力のある県士会にならないといけない

有志の勉強会に支援ができないか

等という意見が上がった

6. 福利部

日時：平成30年11月11日（日）10:00から

場所：三重県立こころの医療センター

内容：スポーツレクリエーション大会

現在のところ大人13名、子供2名の参加予定

次回理事会日程

日時：平成30年12月8日（金）19:30～

場所：鈴鹿厚生病院